



2025（令和7）年度看護の出前授業

令和8年1月29日（木）

宇都宮市立陽東小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

新宇都宮リハビリテーション病院の看護師2名が、「看護師になるには」「看護師の仕事」「病院での一日の流れ」「患者さまの状態観察」などについて、講師それぞれの経験を踏まえてお話ししました。血圧・脈拍・酸素飽和度を実際に測定してみました。



脈拍・血圧測定をしてみました。

児童の方々の感想

- 話がとても分かりやすく、聞いているだけで現場の様子が良くわかった。
- 看護師の仕事は、患者さんの命に関わる緊張感のある仕事だとわかった。
- 看護師としての技術だけでなく、患者さんとのコミュニケーションをとることも大事だと分かった。どんな仕事も人とのコミュニケーション能力が必要だと感じた。
- 患者さんを救うのは看護師だけではなく、薬剤師や管理栄養士などの人たちとも協力していること、チーム医療について知ることができた。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年12月11日（木）

宇都宮市立瑞穂台小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

新上三川病院の看護師4名が、「看護師の職場と仕事内容」「看護職の資格と養成学校等」などについて、講師それぞれの経験を踏まえてお話ししました。聴診器などの器具・手洗い・高齢者体験・AED体験を行いました。



児童の方々の感想

- 看護師さんの仕事について興味が高まった。
- 心拍数や血中酸素を調べた時には、運動前と後で、こんなに変わるのかとびっくりした。
- 高齢者体験をしてみて、お年寄りの大変さがわかったので、身近なお年寄りにも手助けしようと思った。
- 将来、看護師か医療関係の仕事につきたいと思った。
- 学生のうちからどうすればいいのか聞くことができたので、とても良かった。



心臓マッサージ・AED
の体験中です。
心臓マッサージは力が必
要で大変。音楽に合わせ
て頑張っています。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年12月9日（火）

下野市立国分寺東小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

自治医科大学附属病院の看護師が、「看護師ってどんなお仕事？」「なぜ看護師になろうと思ったか？」「看護師になるにはどうするの？」「看護師のやりがいはなに？」「6年生の今からやっておくこと」などについてお話ししました。

児童の方たちの感想

○今からやっておくとよいことで、勉強はもちろん「あいさつができる」「友達をたくさん作る」「ありがとうやごめんなさいを言える」を意識して生活していきたい。

○看護師が医師とだけではなく、いろんな職種の方とチームで動いていることがわかった。



みんなで折り紙を使って、授業しました！

講師の方の説明で、折り紙を折ってみると～

説明のしかたで伝わり方が違うことに、びっくり！

相手がわかっているだろうと簡単にしか話さないと伝わらないこともあるという事を体験しました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年10月22日（水）

宇都宮市立清原東小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

医療法人北斗会宇都宮東病院の看護師が、「看護とは」「看護師の仕事について」「看護師になるための進路」「看護師に向いている人」「看護師として大切に思っていること」等についてお話ししました。また、聴診器やバイタルサイン測定、さまざまな医療器材に直接触れる体験をしました。

児童の感想

看護師に必要な力は、責任感・体力・判断力、観察力も必要だと聞いて良かった。

これらを磨いていきたい。

将来の夢を考えるきっかけになって良かった。

たくさんのお話を聞き、病院にとっても興味を持った。



講師の方の感想

看護師の仕事内容ややりがい・魅力など伝えられたと思う。

体験では大変興味を持ってきていたように感じた。

看護師の責任や、生涯学習についてもお話しできた。

自身の体験を伝え、看護感の再認識や、初心を思い出す良い機会となった。

Merry
Christmas



2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年10月16日（木）

佐野市立石塚小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

あしかがの森足利病院の看護師が、「看護師ってどんな仕事？」「看護師になった理由」「看護師になるためには」「看護師になるためにはどうしたらいいの？」「看護師の一日の流れ」等についてお話ししました。また、バイタルサイン測定の体験をしました。



児童の方々の感想

- 私が入院した時に看護師さんが話しかけてくれて嬉しかったことを思い出した。
- 聴診器で自分や友達の心臓の音を聞いた。「ああ、生きているんだな」と実感した。
- これからもこの学習を活かして、人の命を大切にしていきたいと心から思った。
- この授業をとおして、看護師になりたいと思った。

講師の感想

- この授業を通して看護師になりたいと思ってくれた児童が増えていて、少しでも魅力が伝わったのかなと嬉しく思いました。
- 自身の看護の振り返りにもなり、子どもたちの直接の反応や言葉も得て、私自身の学びにもなりました。



2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年9月9日（火）

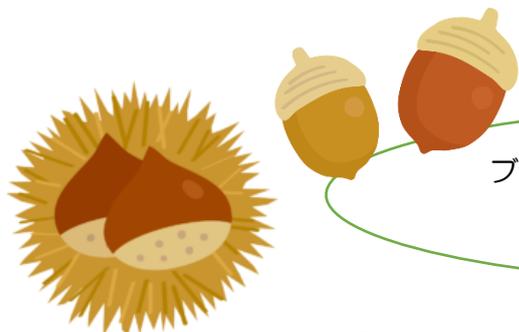
鹿沼市立菊沢西小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

御殿山病院の看護師2名が、「看護師とは、看護師が働く場所、看護師になるには等」「病院とは、外来・病棟の1日」についてのお話し、人体クイズや聴診器・手洗い・防護具の着脱・応急処置の体験も行いました。



児童の方々の感想

- 看護師の仕事に興味を持った。
- 家でも調べてみたいと思った。
- イメージしていた看護師の仕事と実際の仕事にギャップがあり驚いた。
- 防護服体験、たいへんだったけれど、かっこいいと思った。
- 清潔にすることが大切だと思った。これからしっかりと手を洗いたいと思う。



ブラックライトで手洗いの洗い残しをチェック！
& 防護服着脱体験中





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年9月10日（水）

那須町立東陽小学校で、5・6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

那須赤十字病院の看護師3名が、「看護師の仕事について（内容ややりがい、看護師になった動機など）」「看護師になるには（進路や就職先など）」などについてお話ししました。

また、手洗い体験や「あっぱくん」を使用した胸骨圧迫体験などの体験も行いました。



○講師の先生のように頑張って看護師を目指したいと思った。

○看護師さんの仕事は大変だけど、やりがいがある仕事だと分かった。

○看護師になるにはどうするか、詳しくわかって参考になった。

○心臓マッサージやAEDの使い方を知ることができてよかった。

○手洗いチェックをしてみると、きれいに見えても、汚れが残っていることがわかった。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年10月9日（木）

宇都宮市立中央小学校で、5・6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

NHO栃木医療センターの看護師3名が、それぞれが自己紹介とともに看護師を志したきっかけについて話した後、「看護の実際（仕事内容・やりがい・男性看護師の働き方）」「看護師・看護職になるには」「病院で働く医療従事者と看護師の役割」「看護師の働く場所」などについてお話ししました。また、聴診器で心音・肺音を聴く、血圧・脈拍測定などたくさんの体験も行いました。



（児童の方々の感想）

- 看護師の具体的な仕事の様子が良くわかり、看護師の仕事に興味があった。
- 聴診器で自分や友達の心臓の音を聞いてみて、生きていることを実感した。
- 看護師になるために必要な資格や進路などについて詳しく説明していただき、とても分かりやすかった。

（先生から）

話が分かりやすく、特に看護師になるための進路に関する話は、具体的で児童にとって非常に参考になりました。
聴診器の体験では、児童たちが意欲的に参加できました

（講師のコメント）

児童の方々が、一生懸命説明を聞いて、質問もたくさんしていただき、とても嬉しく思いました。
体験では普段触れることが無い器械に触れ、興味津々な様子が印象的でした。
今回の授業が、看護職に興味を持つきっかけになったら嬉しいです。





2025（令和7）年度看護の出前授業

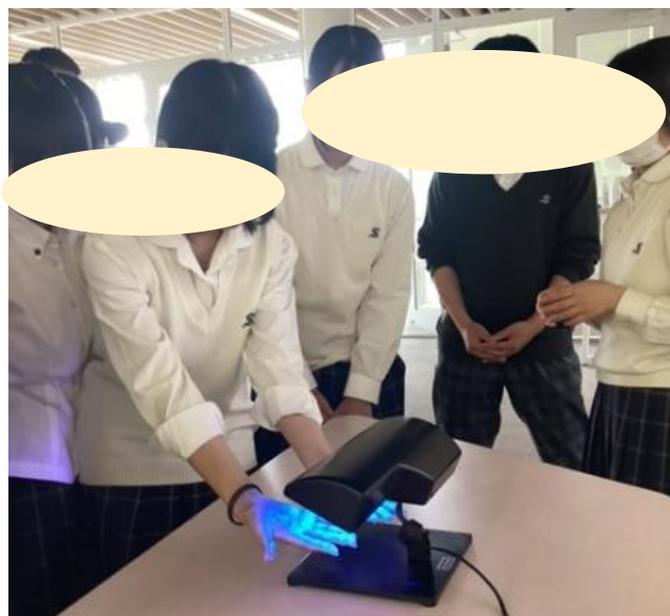
令和7年8月22日（金）

作新学院高等学校トップ英進部・英進部で、1・2年生を対象に看護の出前授業をおこないました。済生会宇都宮病院の看護師が、「病院について（種類と役割・スタッフとチーム医療など）」「看護師になる方法・仕事の内容」「看護師のやりがい・大切な能力・理想像・求める人材」「看護師としてのキャリアについて」などお話ししました。

○医療従事者の仕事の大変さを実感できた。

看護師から直接話を聞き、仕事のリアルさを知ることによって、看護師になりたい気持ちが更に強まった。

○看護師の仕事内容や進路について理解が深まり、実際にいろいろな体験をできたことが嬉しかった。将来医療に携わりたいという思いが一層強まった。



先生から

この授業で、看護師になる具体的なイメージを持つことができ、また今後身に付けるべき素養についても考える機会となりました。

講師から

事前アンケートをふまえて、専門学校と大学の違い、看護師のキャリア、業務内容や勤務体制など、具体的にお話ししました。

自分の看護を振り返る機会となりました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年9月10日（水）

大田原市立野崎中学校で、2年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

那須中央病院の看護師が、「看護師の仕事」「仕事になるためには」「病院紹介」「少子高齢化」などについてお話ししました。また、看護師になろうと思った動機や、看護師としての喜び・苦勞などをお話ししました。

演習では、脈拍測定、聴診器体験、チェッカーを使っての手洗い確認を実施しました。



○看護師さんは辛いこともたくさんあるけれど、すごくやりがいのある職業なのだと思います。

○看護師の仕事内容を学び、医師のサポートだけではない、たくさんの仕事があることがわかりました。「看護師は優しさで笑顔が大切！」と教わったので、私も優しさで笑顔を保ち続けられれば良いなと思いました。

○男性の看護師が増えていることがわかりました。



学校の先生より

看護師の働くうえでの喜びや、たいへんな仕事だからこそ「やりがい」があることとお話しいただき、キャリア教育の一環として勉強ができました。



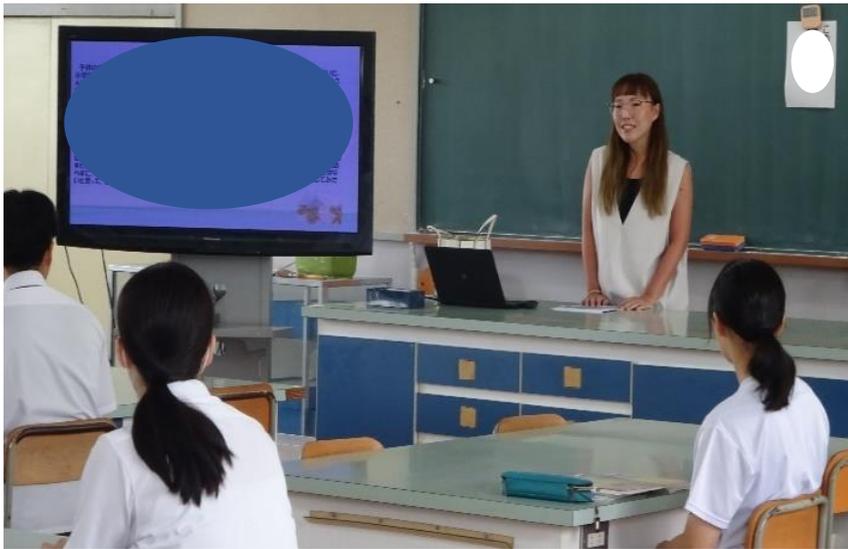


2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年8月4日（月）

栃木県立宇都宮南高等学校で、2・3年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

JCHOうつのみや病院の看護師が、「看護師になった動機」「看護学校の受験や学習・実習について」「看護職の特性や内容」「チーム医療について」などお話ししました。



講師から

看護師になろうと思った時の気持ちや看護学生時代のことを思い出す良い機会となりました。看護の理想と現実や、医療現場の現状をお伝えするか悩みましたが、真摯に受け止めてくださり、医療職に就きたいと思う高校生に感銘を受けました。



○看護専門学校学生も様々な年齢の方がいて、患者さんもさまざまであり、自分とは異なる考えや価値観を持つ人との交流ができるのも看護の魅力の一つだと気づけた。

○授業の中で「自分の好きなこと・得意なこと」を書き出した内容を見て、意外と看護師に向いていると思えた。このおかげで更に興味を持って、もっと知りたいと思った。

○看護師の仕事の大変な部分や苦勞する部分も隠さず教えていただき、それでもやりがいがあるところ、自分も看護師になりたいという気持ちが強くなった。

○医療職のイメージと現実がかなり違うことを知った。いろいろな職種がいろいろな働き方があり、自分に合った働き方を見つけるのが大切だと分かった。

先生から

講師の方が経験を通して、踏み込んだところまでお話しいただき、生徒たちも興味を持って拝聴しました。今回の講義を通して生徒たちが看護師としてのやりがいを理解し、今後の希望や目標を固まったと感じました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年7月17日（木）

真岡市立久下田中学校で、全校生徒を対象に看護の出前授業をおこないました。

芳賀赤十字病院の看護師が、「看護師・保健師・助産師のお仕事」「仕事の特性や内容」「必要な資格と取得方法」「病棟看護師の一日」を全校生徒に向けてお話ししました。また、久下田中学校の卒業生の看護師も同行し、看護師になった動機や中学校時代の思い出などをお話ししました。

その後、3年生と保健委員を対象に、聴診器・血圧計に実際に触れて体験も行いました。



○将来の仕事には、能力だけでなく、思いも大切だということがわかりました。誰かのためになりたいという思いで、将来の仕事を考えようと思いました。

○「働く」とは深く考えさせられた。

○実際に看護師の方から話を聞き、興味を持つことができました。

○看護師を目指しているので、看護師の方のお話を聞き、夢のために頑張りたいと思った。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年7月4日（金）

那須塩原市立黒磯中学校で、2年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

菅間記念病院の看護師が、「看護職とは」「看護師の実際」「看護職になるには」などについてお話ししました。

また、「血圧測定の実践」や物品見学（注射器・採血管・聴診器・ペンライトなど）も行いました。



看護師だけでも様々な仕事があり、人の役に立っているとすごくわかりました。

興味を持っていたのでより詳しく聞くことができ、ずっとワクワクしていました。とても楽しかったです。



講師の方から

この出前授業を通して看護師という仕事にいかに関心を持っていただけるかと考え、興味を持てるような内容にできるよう心がけました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年6月20日（金）

那須塩原市立共英小学校で、5年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

那須北病院の看護師が、「看護師とは」「看護師の仕事内容」「福祉の目で見た看護師の役割」「看護職への道」などについてお話ししました。

また、聴診器で心音を聴く、滅菌ガウン・手袋の着脱、などたくさんの体験も行いました。



看護師さんの仕事が良くわかりました。

クイズやいろいろな道具を実際に触って体験することができて、楽しかったです。

看護師さんの大変さを知ることができました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年6月17日（火）

栃木県立壬生高等学校で、1～3年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

獨協医科大学病院の看護師3名（2名が壬生高等学校の卒業生でした）が、「看護職になるために」

「看護職の仕事内容・フィールド」「看護師国家試験等について」などについてお話ししました。

また、卒業生である先輩看護師から、看護師になった動機ややりがい・魅力、高校時代に頑張った事などもお話ししました。



この出前授業を通して

○1・2年生は、看護職について深く知ること
で、更に興味を持つきっかけとなった。
看護師になりたい気持ちが強くなった。
やりがいも大変なこともある。コミュニケー
ションを大事にしたい。

○3年生は、現在の医療現場の状況を知ること
ができた。また、学校や、国家試験の情報
など、とても役に立つと思った。
更に看護師になりたい強くと思った。



講師の方から

看護職は、人と直接かかわる仕事であり、自己表現や話を聞く能力を養い、様々な人とのコミュニケーションを通じて、気持ちに寄り添うことの大切さをお話ししました。

皆、真剣に話を聞いてくださり、楽しく体験をしている様子が見られました。

